オピニオン

質の高い教育旅行の学び先へ

東京では観測史上一番早い桜の開花がありました。入学式の頃の桜が卒業式に近づいています。地球温暖化を感じられる出来事です。

新型コロナまん延から3年が経過し、日本の人口の27%が感染した大病でありました。1月10日からは全国旅行支援の割引が再度実施され、2月からスポーツ観戦の声出し応援が可能となり、WBCでは大きな声援が日本チーム活躍の後押しとなりました。

3月13日からマスク着用が任意となり、5月8日から感染症分類2類相当から5類に引き下げられる予定です。5月19日は世界先進国首脳会議が広島市で開催されることとなりました。3年間の多くの行動制限から解放に向かっています。

修学旅行もコロナ禍の3年間の中から学び、変化が起ころうとしています。ロシアのウクライナ侵攻に端を発した燃料や小麦粉の値上がりはあらゆる食品全般に波及し、生活物資や外食産業や宿泊業にも大きく影響を及ぼすことになり、公共交通機関の運賃値上げにまで及んでいます。それらの要素を含んで構成される修学旅行も同じ内容なら当然ながら値上げが必要になってきます。

さもなければ、遠くへ行きたい志向から、距離ではなく、今まで以上に、教育効果や内容重視に変えるべき時でもあります。どこへ行くかではなく何を学ぶか、行き先から学び先へを考える機会です。

コロナ禍で希薄になった人間関係構築機会の減少。ゲームに明け暮れ、室内に閉じこもる時間から、野外で自然と関わる時間を取り戻したい。便利になり、インスタント食品、出来合いの総菜、冷凍食品、宅配、外食でやり過ごしてきた「食」。食料生産現場では生産方法、調理方法、おいしい食べ方を学べる機会があります。それらのいずれもかなえる極めて教育効果が高い民泊は各地で復活を目指して進められており、本紙ではそれらの地域を紹介しています。

また、2015年に国連で採択されたSDGsも8年目を迎え、教育現場での実践が求められており、修学旅行先の地域に山積する課題も地球規模のSDGs課題に直結しており、それらの他人事を自分事と捉えて、その課題を地域の人と共有し、解決に向けた道筋を考えることが探究学習となります。そして、生徒一人一人がそのためにはどのように行動するのか、生き方や習慣を変える機会となってほしいと願っています。

以下に掲載している地域は、全国ほんもの体験ネットワーク・全国教育民泊協会会員であり、体験プログラム、SDGs学習、教育民泊を通しての探究学習を推進しています。安心・安全のための教育研修や担い手の人材育成にも取り組んでおります。質の高い教育旅行の学び先としてのご利用をお勧めいたします。

全国ほんもの体験ネットワーク会長・全国教育民泊協会会長・体験教育企画代表取締役
藤澤　安良

体験交流とSDGs推進

岩手県・田野畑村

三陸復興国立公園
大震災の伝承と大自然

人気のサッパ船アドベンチャーズ

体験の拠点「机浜番屋群」

潮騒の宿「ホテル羅賀荘」

岩手県沿岸北部に位置する田野畑村は、人口約3千人の農山漁村です。三陸復興国立公園に指定されている海岸線には、高さ200㍍前後の断崖が約8㌔にわたり連なる北山崎や、弓状にえぐられた200㍍前後の断崖が、5列に連なる鵜の巣断崖などの景勝地を有しています。北山崎は、平成11年に公益財団法人日本交通公社が行った全国観光資源評価・海岸の部で、世界に誇示できる観光資源であるとして、最高ランクの特A級に格付けされています。

田野畑村の豊かな自然の中に築かれてきた歴史や文化、漁業、農業、酪農、林業、観光と多彩な産業と人々の営み、そして大津波の体験と復興へ進む姿は、たくましさや生きる力を育むための良き教材です。体験プログラムの指導者は訪れる子供たちとの交流を大切にし、素顔と本音で真剣に向き合います。

新型コロナウイルス感染症対策として体調確認、手指消毒、マスクの着用をしていただきながら実施します。

■組織と教育訓練

体験村・たのはたネットワークがコーディネートし組織として手配のワンストップ化を図り、田野畑村役場が後方支援をする官民一体の体制を整え、学校や旅行会社の目的や要望に対し迅速、柔軟に対応しています。プログラムの指導者や民泊家庭は定期的な研修を行い、漁船プログラムについては海上保安庁などとの連携訓練を実施し安全確保に努めています。

■民泊（ホームステイ）

現在新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れ家庭が激減し、約20軒で80人の受け入れが可能ですが、社会状況の平常化に合わせて受け入れ家庭の拡大に取り組んでいます。アクセスのよくない三陸沿岸道路を活用した三陸沿岸の普代村や30分の久慈市などと連携し、大規模校の受け入れも可能です。地域の人々の恵みを共有し助け合ってきた営みを体験し、ふれあいを通じて心が成長します。

■宿泊ホテル

336人の収容能力を持つホテル羅賀荘は、宿を出るとすぐに体験現場というロケーション。ホテル隣接の屋内交流センターではセレモニーや体験プログラム、ワークショップなど多目的な活用が可能で滞在中に効率的なプログラムを組めます。

■机浜番屋群

平成18年に「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に選ばれた机浜番屋群。東日本大震災で流失しましたが、多くの方の支援で以前の面影を復元する形で再建されました。現在は漁師の拠点施設であるとともに、塩づくりや番屋料理などの体験ができる観光拠点にもなっています。

【お奨めプログラム】

◆サッパ船アドベンチャーズ　三陸地域の観光振興をけん引するサッパ船アドベンチャーズ。漁に使う小型漁船（サッパ船）に乗り、断崖直下や岩礁の間を縫うように航行する漁師の勇姿に気迫を感じます。洋上や漁港での体験は漁業の厳しさや漁師の知恵を伝えます。

◆大津波語り部　平成23年3月11日に村を襲った大津波は、住家や施設のみならず、多くの尊い命を奪い去りました。被災地だからこそ伝えなければならない、あの日この場所で起こったこと。そして10年の歳月の中で懸命に復旧・復興を続けてきたこと。当時を知るガイドから防災への備え、生きる力を学びます。

◆塩づくり体験　三陸沿岸一帯で行われていた塩づくりを昔ながらの製法で体験できます。いか塩が貴重であったかを実感できます。

「大津波語り部」から生きる力を学ぶ

〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
北山崎ビジターセンター内
TEL 0194-37-1211　FAX 0194-33-3355
E-mail taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
URL https://www.tanohata-taiken.jp/

NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
担当　楠田・赤坂

埼玉県・秩父地域

都心から90分、民泊家庭は150軒
東京に「ちかいなか」秩父

自然を感じ、チームワークを育むラフティング

全員で料理して「いただきます」

みんなで田植え体験

受け入れ家庭での農作業体験

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80㌔圏内（バス・電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。最近では人気アニメ映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台になった観光要素も多くあるアニメの聖地でもあります。

また、風光明媚で豊かな自然が残り、四季を通じた観光要素も多くある地域で、老若男女問わず、活体験や親密なコミュニケーションを図ります。

■体験プログラム

学校・クラス単位で、首都圏の貴重な水資源となっている荒川を活用した川下りやラフティング、自然の中でのアドベンチャーや渓流釣り、田植え体験、日本百観音霊場である秩父札所34ヶ寺で行われる座禅、竹細工、さらには、貴重な地質を生かしたジオパークや新電力を学べるSDGs体験など学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムも多数ご用意しています。

■コーディネート組織

「一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会と連携した新型コロナウイルス対策や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせし、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。その他、学校や家庭が望むニーズにも可能な限り対応いたします。

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高・関越道経由で花園IC下車、国道140号を利用。鉄道ではJR山手線池袋駅から西武鉄道・特急ラビュー号で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約300人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。

東京への修学旅行に〝ちかいなか秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。

〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL 0494-26-6260　FAX 0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社

長野県・南信州

SDGs教育プログラム
高校の受け入れ開始

天竜川ラフティングでチームワークができる

ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

なぜ今、南信州か？

○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○平成8年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、26年間の安定した実績を持っています。

○全国で初めて農泊（受け入れ先は延べ450軒、簡易宿所）を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。

施設ガイドラインVer3、南信州農泊ガイドラインVer3（農家向け）の順守。

▽従業員の感染防止対策、感染防止のためのオペレーションの見直し、頻繁な換気、接触箇所の消毒

▽修学旅行生の感染防止ガイドライン順守。マスク着用、接触防止策・ソーシャルディスタンシング、手洗い・手指消毒の徹底

▽感染防止のための設備・備品・新技術の活用

▽感染者発生時の対応策の徹底と関係機関との連携

▽万が一に備えて検査キット（抗原定性検査）の準備

SDGs と新学習指導要領～中学校教育に求められるもの～

OECD PISA（2018学習到達度調査79カ国、15歳対象）が評価する主要な能力では、日本は数学的リテラシー6位（5位）、科学的リテラシー5位（2位）、読解力15位（8位）と全て後退しています。

新学習指導要領の求める主要な能力は、OECD PISAの調査目的とリンクしています。

既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のない問いに答えを出せる」「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えてもよいものです。

そして、時代の潮流はSDGs。「主体的・対話的で深い学び」と持続可能な地球、日本、地域を創るためのフィールドワークをふんだんに用意しています。ご来訪をお待ちします。

◆南信州観光公社＝長野県の認定するSDGs推進企業第147号

「私たちのネギ畑。農業って面白い」

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

〒395-0152　長野県飯田市育良町1-2-1
りんごの里内
TEL 0265-28-1747　FAX 0265-28-1748
URL https://www.mstb.jp/

株式会社 南信州観光公社